

海と日本PROJECT Meet UP企画

実施報告書

実施日：2019年10月27日（日）



海のUMAMI暮らし

海と日本ラウンジ実行委員会

海と日本プロジェクトとは	P3
海と日本ラウンジ事業 Meet UP企画とは	P4
二子玉川蔦屋家電 イベント実施概要 & 実績	P5
二子玉川蔦屋家電 イベントテーマ「頑張らない和食」	P6
海のUMAMI暮らしとは	P7
会場概要	P8
会場レイアウト	P9
スケジュール	P10
ステージプログラム	P13
登壇者プロフィール	P14
ギャラリー展示	P15
運営・進行	P16
制作物	P20
事前告知	P24
PR活動	P25
アンケート集計	P28
考察	P32

海と人とをつなぐ。

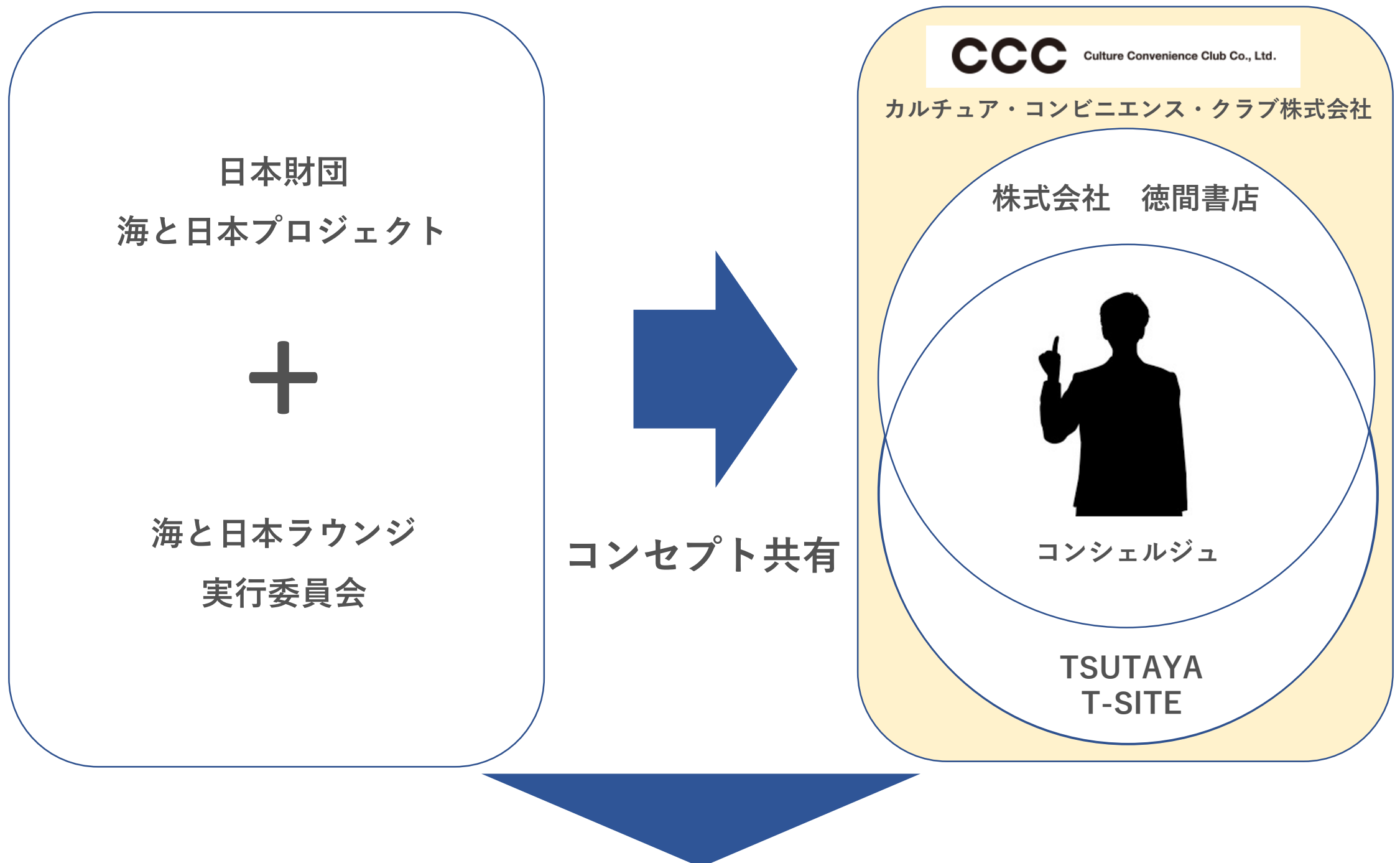
さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、
子どもたちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、
海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、
日本財団、総合海洋制作本部、国土交通省の旗振りのもと、
オールジャパンで推進するプロジェクトです。



海離れが進行する中、全国展開であり、ブックコンシェルジュがいる蔦屋書店で、海に関心をもってもらうために多方面からアプローチを可能とさせる為

大きなテーマ「海の●●●暮らし」を設定

各店舗エリアのターゲットに沿ったイベントの開催により、より多くの人の意識の向上を図る。



「海の●●●暮らし」

本×料理
二子玉川蔦屋家電
「海のUMAMI暮らし」

“海を守れる食”を知る。

本×頭
柏の葉T-SITE
「海のMANABI暮らし」

“海を守れる知恵”を知る。

本×体験
湘南T-SITE
「海のMEGUMI暮らし」

“海を守れる技”を知る。

本×●●●
代官山T-SITE
「海の●●●暮らし」

“海を守れる●”を知る。

POINT!

- ・「本」を起点として、海への理解と学びを深めて広げていく事業であること
- ・そのためにブックコンシェルジュ×蔦屋書店×店舗ごとに親和性のあるテーマであること
- ・徳間書店制作の「本」を全国展開の呼び水にすること
- ・今年度蔦屋書店と一緒に展開する3つのイベントをモデルとして、来年度の自走展開につながること

二 子玉川蔦屋家電 イベント実施概要&実績

- 全体開催名称 「海のUMAMI暮らし」
- トークイベント開催名称 「海のUMAMI暮らし」トークイベント
- 主催 海と日本ラウンジ実行委員会
- 日時
 - ・トークイベント：2019年10月27日（日）13：30～14：30
 - ・展示イベント：2019年10月26日（土）～11月8日（金）
- 会場 二子玉川蔦屋家電
東京都世田谷区玉川1-14-1号二子玉川ライズ S.C. テラスマーケット
- 参加方法
 - ・トークイベント...当日申し込み
 - ・展示イベント...二子玉川蔦屋家電来場者
- 参加対象
 - 【トークイベント】
二子玉川蔦屋家電の来場者どなたでも
※中学生以上の参加可能・小学生以下は保護者同伴のみ可能
 - 【展示イベント】
二子玉川蔦屋家電の来場者どなたでも
- 参加人数
 - ・トークイベント...既存席数32席
※15～20名ほどの立ち見スペースの設置あり
 - ・展示イベント...前通過人数 約61,000名
※ギャラリー前通過人数、平均平日：約4,000名、休日：約5,000名
- 実施内容
 - 【トークイベント】
司会進行を環境科学者の井手迫義和さん、登壇者にフードスタイリストの飯島奈美さん、パタゴニア プロビジョンズの近藤勝宏さんをお招きして 海を生活に取り入れることの豊かさや海を取り巻く現状についてお話しいただく。
 - 【展示イベント】
“海のUMAMI”を支える日本と海の歴史、地域、技...
海のUMAMIを運んだ「道」UMAMIを育てた「地域の食」
UMAMIの元となる「魚種」UMAMIを育てた「技」をわかりやすい絵図と、パネル作成の際に用いた文献で本をご紹介します。

実績

【トークイベント】
既存席数32席...満席
立ち見スペース約20名程

【展示イベント】
前通過人数 約61,000名



二子玉川蔦屋家電ターゲット層

Strictly Confidential Copyright © COC Co., Ltd. All Rights Reserved.

蔦屋書店
TSUTAYA BOOKS

Electric
蔦屋家電
TSUTAYA ELECTRIC



MEET UP事業としての「頑張らない和食」の解題

頑張らない

↓

こだわりは持ちたい
かっこよくありたい
人のちょっと先
とらわれたくない
自分なりの
自分がよければ
自由度のある

↓

**自分スタイルに沿った
ちょっとだけ誇らしいこと**

和食（海和食）

日本の気候風土、
文化が反映された食べ方

↓

海洋環境の変化、乱獲、
資源の枯渇、フードロス、
地域の海和食文化への関心の
薄れなどの課題

↓

**ちょっとだけ世界にやさしい
サステイナブルな海和食**

使う魚介類は必ずMSC,ASCのものにするなど

海に寄り添う日本人のサステナブルマインドを
いつものテーブルへ、お手軽アップデート。



海のUMAMI暮らし

海を大事にして海を味わってほしい

海にもちょっと優しくなれる暮らし、

“海のUMAMI暮らし”を実践してみよう

会場アクセス

蔦屋家電+

〒158-0094
 東京都世田谷区玉川1丁目14番1号 二子玉川ライズ S.C. テラスマーケット 二子玉川 蔦屋家電1F
 営業時間：09時30分～21時00分



東急電鉄 大井町線・田園都市線「二子玉川駅」より徒歩4分



東急バス・小田急バス「二子玉川駅」下車徒歩2分
 東急バス「ライズ・プラザモール前」下車徒歩2分



①東京方面から
 首都高速道路 用賀ICより2.6km
 ②横浜・町田方面から
 東名高速道路 東京ICより2.8km
 第三京浜 玉川ICより1.6km



会場全体

売場面積:約2,200坪
営業時間:9:30-22:30
 ※家電売場:9:30-21:00
 (昼食:Apple:9:30-22:30、モバイル:10:00-20:00)
 ※スターバックスコーヒー:7:00-22:30

テナント数:10店
 ※店舗により営業時間は異なります。

★ POP UP 1

BOOK&CAFEスペースと隣接した、書籍とテーブル什器をご利用いただけるオープンスペース。お持ち込みの什器での展開も可能なため、「期間限定店舗」として月単位でのご出店に最適です。

④ Dining

おキッチンヒーターをご利用いただけるキッチンと、8名掛けのテーブルセットが4組あるスペース。料理イベントやワークショップ、トークイベントなどを開催していただけます。

② G-square

エスカレーターを昇って左手にあるオープンスペース。壁に囲われていないため、四方から認知して頂けます。車両展示やお持ち込みの什器を展開していただけます。

⑤ Display table

エスカレーターを昇って右手のスペースに展開する平台。最大2台ご利用頂けます。展開中のスタッフ配置は不要なので、長期のプロモーションに最適です。

③ Gallery

エスカレーターを昇って左手の壁面スペース。スラットウォールで構成されているので、フレキシブルな展開が可能です。壁面を利用したヴィジュアルや商品訴求に適しています。

① E-room

エスカレーターを昇って左右に位置する2層階のスペース。それぞれ独立した部屋になっているので、独自の世界観を演出することが可能です。

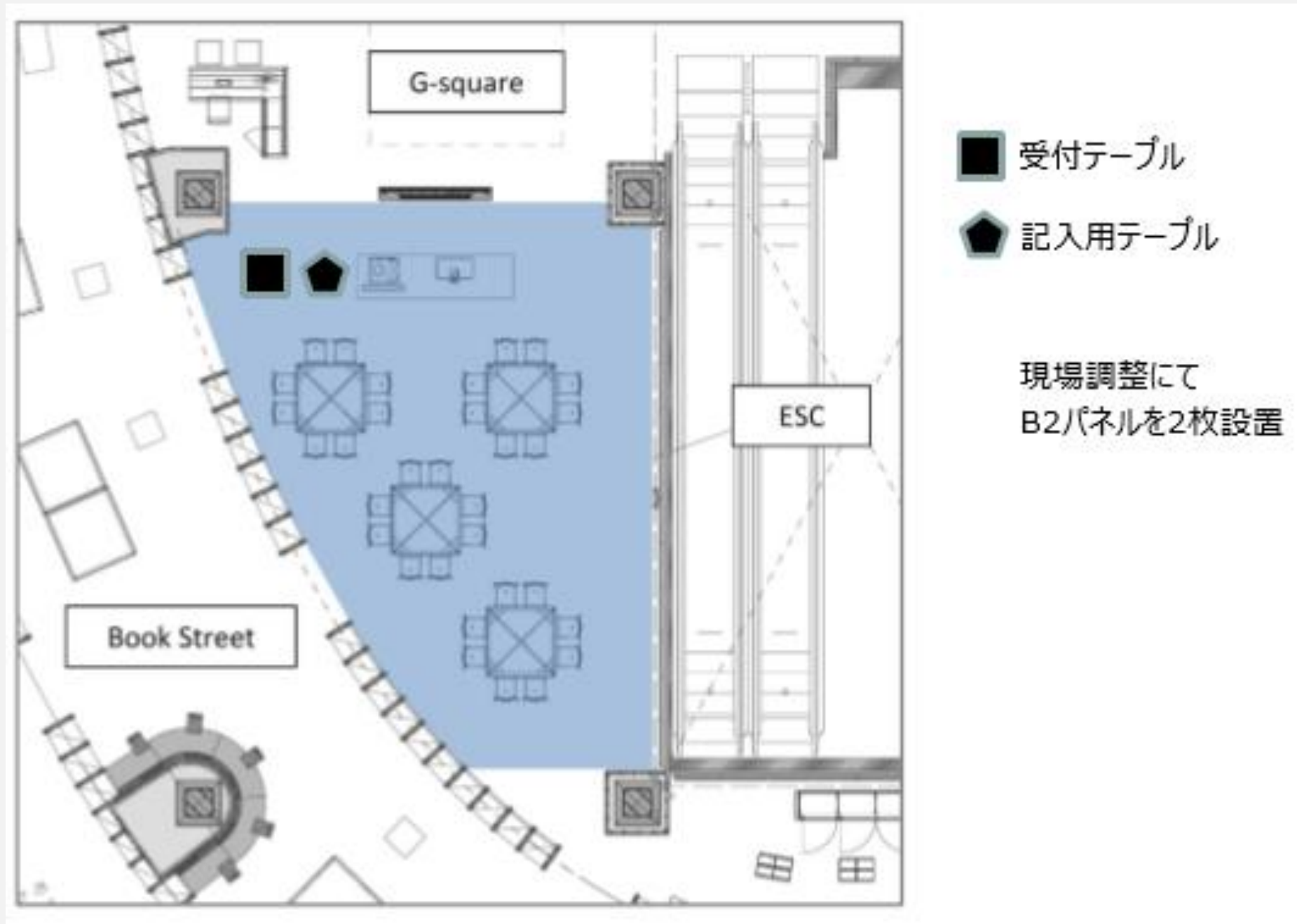
☆ POP UP 2

カウンターテーブルをご利用いただける、BOOK STREETに面したスペース。カウンターの一部を利用したワークショップの開催なども可能で、対面接客ができます。

Strictly Confidential. Copyright (C) CCC Co., Ltd. All Rights Reserved.

会場レイアウト

トークイベント



展示イベント



飯島さん関連書籍販売
参考文献展示
参考文献紹介パネル展示

海と日本プロジェクト紹介パネル展示

25日～26日スケジュール(展示イベント準備)

TIME	全体	会場	装飾(パネル類)	装飾(小物)
10月25日				
22:00				
22:30	22:25搬入スタッフ、搬入口前に集合			
23:00	22:30～23:00 搬入	織田さん立会	22:30～23:00 搬入	
23:30	23:00高橋・下川会場入り		23:00～0:00 パネル設置→調整	
10月26日				
0:00				0:00～1:00 展示小物設置→調整
1:00		1:00～1:50 チェック	1:00～1:50 全体調整	
2:00	完全退館		残材搬出	残材搬出
3:00				
4:00				

※搬入出口ではなく、2階通用門から入る方は別ページを参照(カードキーをかざさないと出入りできません)

注意
0時～3時の間は荷捌きスペースに車両進入ができません。
人の出入りは可です。

27日スケジュール(トークイベント準備)

TIME	全体	運営	進行	井手迫様	飯島様	近藤様
7:00	6:55 搬入スタッフ、搬入口に集合	6:55集合	6:55集合			
7:30	7:00~7:30搬入	7:00~7:30 搬入	7:00~7:30 搬入			
8:00	7:30~8:00 会場借用備品の移動	7:30~8:45 会場転換 準備	7:30~9:00 会場転換 準備			
9:00		8:45~9:30 オリエン	9:00~9:30 サウンドチェック			
9:30	9:30二子玉川蔦屋家電営業開始					
10:00	9:30~13:30 当日申込対応 参加券配布	9:30~13:30 当日申込対応 参加券配布		9:30会場入り		
11:00				ギャラリー等 確認 ↓ 台本修正	食材・機材 搬入	
12:00				11:30~12:00 会場確認		
13:00	13:10入場開始	13:10入場開始	13:10入場開始			12時過ぎ会場入り
14:00	13:30~14:30 海のUMAMI暮らしイベント					
15:00	14:30~15:00 会場借用備品の移動・ダイニングの原状復帰		撤去			
16:00		撤去	搬出		食材・機材 等、搬出	
16:00	16:00 完全退館予定					

8日スケジュール(展示イベント撤去)

TIME	全体	会場	装飾(パネル類)	装飾(小物)
11月8日				
22:00				
22:25	搬入スタッフ、搬入口前に集合			
22:30	22:30~23:00 撤去&梱包	織田さん立会	22:30~23:00 撤去&梱包	
23:00	23:00高橋会場入り			
23:30	23:00~23:45 搬出			
0:00	完全退館 予定			

0時以降は、深夜立会費がかかる & 荷捌きスペースへの進入が0時~3時までできないので、必ず24時までに終了しましょう

「海のUMAMI暮らし」トークイベント

■日程 2019年10月27日（日）

■時間 開場：13：00～13：30 開催時間：13：30～14：30

■出演 司会進行：井手迫義和（環境科学者） 登壇者：飯島奈美（フードスタイリスト）

近藤勝宏（パタゴニア プロビジョンズ）

■内容 食を通じて環境問題の解決アクションを考える日本人のサステナブルな「海のUMAMI暮らし」をトークで展開していきます。

■プログラム

13：30～13：32 ご挨拶...司会進行：井手迫義和（環境科学者）

13：32～14：02 トークショー 登壇者：飯島奈美（フードスタイリスト）

近藤勝宏（パタゴニア プロビジョンズ）

14：02～14：17 簡単干物の作り方紹介 料理：飯島奈美（フードスタイリスト）

14：17～14：27 試食

14：27～14：30 締めのご挨拶





飯島 奈美 (い い じ ま な み)

東京生まれ。フードスタイリスト。

TVCM、広告を中心に、映画などでも活動中。

主な仕事に、映画「かもめ食堂」、「南極料理人」、「舟を編む」、「海街ダイアリー」、「真実」やNHK連続テレビ小説「ごちそうさん」、ドラマ「深夜食堂」「カルテット」など。

主な著書に「LIFE なんでもない日、おめでとう！のごはん。」

(東京糸井事務所)「ワインがおいしいフレンチごはん」(リトルモア)、

「ご飯の島の美味しい話」(幻冬社)オリジナル商品「紀州の、うめ酢」
うめ酢を使った料理冊子「難のがれレシピ」(ほぼ日 で発売中)



近藤 勝宏 (こ ん ど う か つ ひ ろ)

1973年生まれ。神奈川県出身。1995年、パタゴニア鎌倉ストアに
パートタイムスタッフとして勤務。

正社員として入社後、ストア、マーケティング部門のマネージャーを経て、
2016年よりパタゴニアの新しい食品事業「パタゴニア プロビジョンズ」の
日本担当マネージャーとなる。

日頃からサーフィンやスノーボードなど愛好し、自然と親しむ
ライフスタイルを送っている。



井手迫 義和 (い で さ こ よ し か ず)

ラジオDJ、環境科学者、WMO(世界気象機関)認定気候キャスター、
埼玉大学大学院非常勤講師など幅広く活躍。

環境/社会貢献をテーマとしたラジオ番組を今年で約15年続けている。
鎌倉在住、海の街で育児中。

「海のUMAMI暮らし」ギャラリーイベント

■日程 2019年10月26日（土）～11月8日（金）

■時間 二子玉川蔦屋家電営業時間に準ずる。

1/2F BOOK 9:30～22:30 1/2F 家電 9:30～21:00 ※音楽・文具フロアは22:30

■内容 イベント開催で紹介する、料理（簡単干物づくりの紹介）を中心に、海に寄り添った日本の暮らしのサステナブルな食として育まれた背景紐解くパネル展示

「歴史」「食文化」「技」「魚種」の4つのストーリーにして展開をしていきます。



10月27日（日）トークイベント開催
『海のUMAMI暮らし』展示に関連するおすすめの図書

もっと深く知りたい方へのおすすめの図書をご用意しました。
『海とUMAMI暮らし』マークが貼られた本は、二子玉川蔦屋家電店内で自由にご覧いただけます。
読み終わりましたら元の場所へお戻しください。

《日本の食文化》

- 江戸の食文化、和食の発展とその背景（小学館／塚田信男）
- 漁業江戸の食べくらを巡って（弘学出版／石川賢子／編著）
- 日本食物語（吉川弘文館／江原純子、石川尚子、栗西麻理子）
- 『全書日本の食文化』第4巻 魚・野菜・海（徳川図書出版／石川寛子、芳賀登、石川寛子／監修）
- 『食の文化史 139』 河津（法政大学出版局／川名登）
- 『食の文化史 169』 鮭（法政大学出版局／鈴木史英）
- 『食の文化史 171』 鮎（法政大学出版局／赤羽正春）
- 発酵文化人類学 微生物から見た社会のカタチ（本業舎／小倉ヒラタ）

《江戸の街道》

- 船場と街道一五街道入門（東京美術／児玉幸多）
- 『読解き浮世絵鑑賞』歌川広重保本堂版 東海道五三次（二玄社／青田市立図書館美術後援：監修、佐々木守俊）

《日本の民俗文化》

- 『宮本常一講義選集』1 民衆の生活文化（鹿山漁村文化協会）
- 明治大正史 世相篇 新装版（講談社学術文庫／藤田親男）

《江戸の魚事情》

- 北条新等漁地ガイド（鮎野舎出版／加藤貞仁）
- 魚類図誌『1400』の本草魚
- 現代図 旅行指南集（八旗書院／八旗書店：著、板井正徳：監）
- 多摩川鮎図 今昔 遊覧から河口まで（日やき出版／今賀基彦）
- 北前船おっつけ日記（無明舎／鶴守記）

《日本の郷土食》

- 『日本の食生活全集』日本の食事事典1（鹿山漁村文化協会）
- 『日本の食生活全集』日本の食事事典2（鹿山漁村文化協会）

《いらいな魚》

- 海の魚 大図鑑（日本放送出版／石川浩章、藤澤伸二／監修）
- からだにいい魚の便利帳（高橋書店／藤原昌高）
- 『小学館の図鑑 NEO』DVD 付 新編 魚（小学館／井田慶：監修、松浦浩一：監修）

※『海とUMAMI暮らし』展示は10月27日（日）開催のトークイベントに関連した展示です。
※一部は展示が終了後参考とした図書です。

海と人をつなぐ。
日本では古くから海と人との関係が深く、食文化や生活文化の発展に大きく貢献しています。その中でも魚は重要な役割を果たしています。『海とUMAMI暮らし』は、魚の食文化や生活文化の発展に貢献しています。海と人をつなぐ。海と人をつなぐ。海と人をつなぐ。

海に浮かぶ日本人のサステナブルな暮らしを
いつものテーブルへ、お手軽アップデート。
海とUMAMI暮らし

海と日本ラウンジ実行委員会
本社所在地：東京都千代田区九段南4-1-16 9F 9F KTビル 8 9階
担当：高橋純子 TEL: 03-5275-5105

海と日本ラウンジ実行委員会
本社所在地：東京都千代田区九段南4-1-16 9F 9F KTビル 8 9階
担当：高橋純子 TEL: 03-5275-5105

□参加方法 事前参加申込は行わず、当日申込のみとする

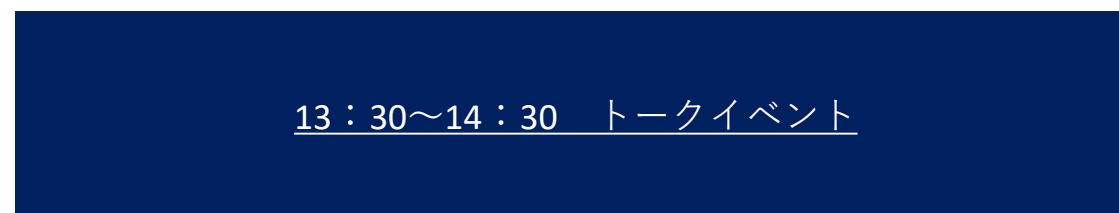
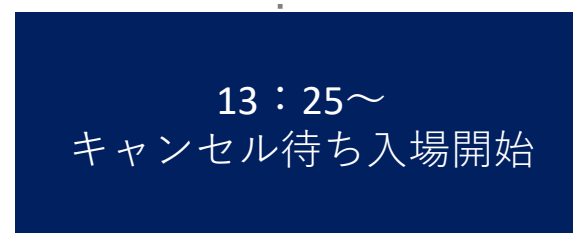
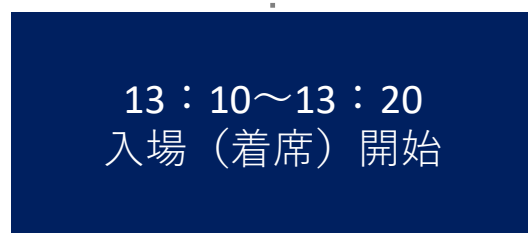
10月18日～



10月21日～

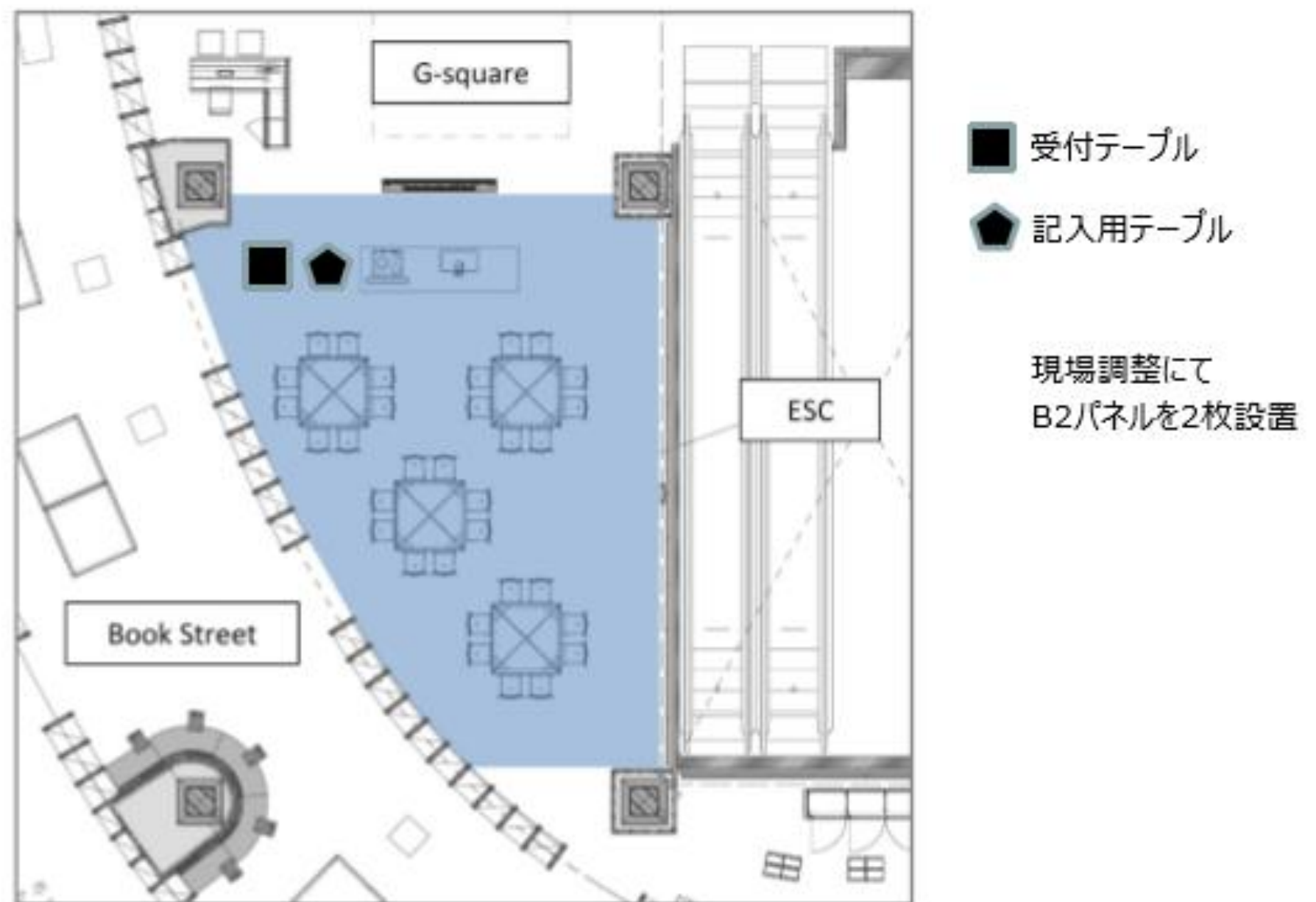


10月27日
(当日)



運営・進行...受付について①

- 場所 2階 Dinning トークイベント会場 内
- 参加人数に関して 座席数は32席
- 参加対象 中学生以上の参加可能
小学生以下の参加は保護者同伴の場合のみ可



- 時間 09:25 スタンバイ
09:30~13:30 受付対応
※管理番号付き (1~32) の参加券配布
参加券終了後は、キャンセル待ちの参加券の配布対応 (管理番号1~10)
13:10~ 入場開始
13:25~ キャンセル待ち参加者の入場開始
※管理番号若い順に

運営・進行...受付について②

□参加券配布方法

①参加希望者人数を確認（中学生以上の方が同伴か確認）

↓

②参加者用紙に個人情報を記入いただく ※記入の同意を必ず得る ※一枚の用紙に一団体記入とする

↓

③参加券をお渡し（参加券に記載の必要事項をしっかりと案内）

※13：10から入場開始（着席）となります。13：20までに着席が確認できない場合は権利無効となります

※管理番号順の入場ではなく、到着順の入場で、座席は自由席です

↓

④参加者用紙の管理番号欄にお渡しした管理番号を記載

□キャンセル待ち参加券配布方法

①既に当日申込で一杯の旨を伝え、キャンセル待ちであれば、**参加できるかもしれない事**を伝える。

↓

②参加希望者人数を確認（中学生以上の方が同伴か確認）

↓

③キャンセル待ち参加者用紙に個人情報を記入いただく ※記入の同意を必ず得る ※一枚の用紙に一団体記入とする

↓

④キャンセル待ち参加券をお渡し（キャンセル待ち参加券に記載の必要事項をしっかりと案内）

※13：20までに再集合いただき、キャンセル待ちがあった場合、参加できます。

※入場順は管理番号順です。

□個人情報の取得に関して 飲食の提供があるため保健所から以下の指導を受けています。

①参加者一覧を作成すること（イベント当日は、一覧にせず、個々の用紙毎に記入いただきます）

②一覧には「氏名」「連絡先 固定電話あるいは携帯電話」を記入

③本人確認のための身分証（保険証・運転免許証）の確認は必要なし

④一覧を保健所等に提出の必要はない（試食品の提供により何か不慮の事故があった場合）

□参加券 90×90位



参加券 管理番号1

- 13時10分～13時20分の間に入場、そして着席となります。必ず上記時間までにお戻りください。
- 13時20分を過ぎて、入場（着席）されていない場合、トークイベントへの参加はできません。キャンセル扱いとなり、参加券の効力は無効となります。
- 参加者用紙に記入されたお名前以外の方の参加はできません。
- トークイベントの様子は写真や動画等での撮影を予定しております。参加者の皆様が映り込んだイベントの写真や映像がメディア等に掲載される場合がございます。予めご了承ください。

□キャンセル待ち参加券 90×90位



キャンセル待ち参加券 管理番号1

- この券は、トークイベントへの参加を確約するものではなくキャンセルが発生した場合、管理番号の若い順にご案内する為の券です。
- 13時20分までに、お戻りください。
- キャンセルにてお席の用意ができる場合、13時25分から入場、そして着席となります。
- キャンセル待ち参加者用紙に記入されたお名前以外の方の参加はできません。
- トークイベントの様子は写真や動画等での撮影を予定しております。参加者の皆様が映り込んだイベントの写真や映像がメディア等に掲載される場合がございます。予めご了承ください。

運営・進行...受付について③

□参加者記入用紙

1団体（家族）に1枚使用

お一人の場合は、一人分の記入のみとする。（個人情報保護の為です）

世田谷区保健所からの指導により、本イベントの参加者リストの作成が義務付けられています。お預かりした個人情報について、以下のとおり適正かつ安全に管理・運用することに努めます。

1. 利用目的

①世田谷区保健所から開示請求があった場合のみ。

2. 廃棄

①本イベントから1週間後、世田谷区保健所から開示請求が無い場合、適切に廃棄します。

上記の個人情報取扱いに同意される方は、下記に記入をお願いいたします。

参加者記入用紙

管理番号	お名前	連絡先 ※携帯電話あるいは固定電話

管理番号は、参加券をお渡しの際に記入

□キャンセル待ち参加者記入用紙

1団体（家族）に1枚使用

お一人の場合は、一人分の記入のみとする。（個人情報保護の為です）

世田谷区保健所からの指導により、本イベントの参加者リストの作成が義務付けられています。お預かりした個人情報について、以下のとおり適正かつ安全に管理・運用することに努めます。

1. 利用目的

①世田谷区保健所から開示請求があった場合のみ。

2. 廃棄

①本イベントから1週間後、世田谷区保健所から開示請求が無い場合、適切に廃棄します。

上記の個人情報取扱いに同意される方は、下記に記入をお願いいたします。

キャンセル待ち参加者記入用紙

管理番号	お名前	連絡先 ※携帯電話あるいは固定電話

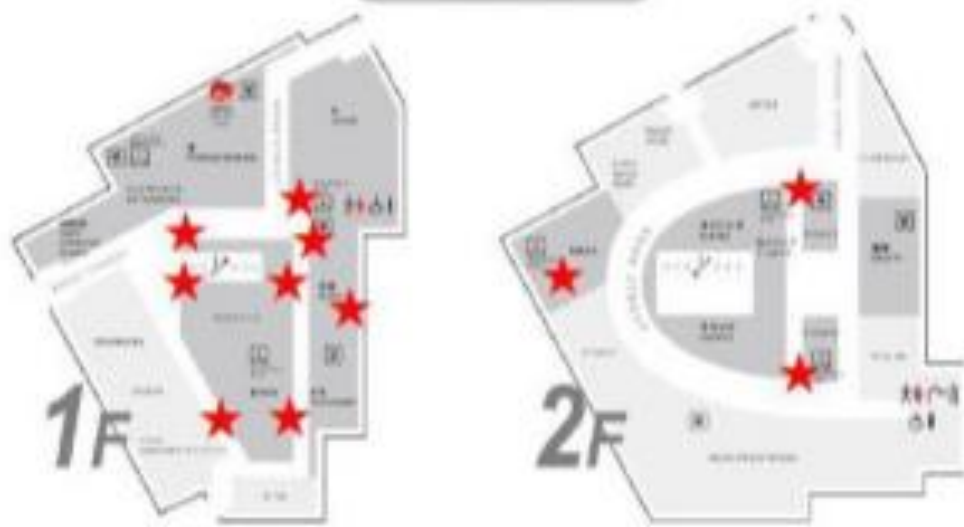
管理番号は、参加券をお渡しの際に記入

□館内サインージ

写真



設置場所



EVENT INFORMATION

「海」の面白さ、おいしさ、大事さとは？

海のUMAMI暮らし

10月27日（日）13:30~14:30



海のUMAMI暮らし

環境の変化などで海の魚たちが減ってきている今、フードロスの観点からも見直されているのが、日本古来の保存技術と食の文化。海を大切にする日本人の「サステイナビリティマインド」がいつもの食卓をもっと心豊かに、スタイリッシュにアップデートします。フードスタイリストの飯島奈美さんによるトーク、実演を是非お楽しみください。

場所：2階 ダイニング

申込方法：詳しくはHPをご覧ください

Electrics
幕屋家電

イベントスペース

▶ ENGLISH ▶ 中文(简体字)



アクセス フロアガイド イベント 特集・記事 ニュース 二子玉川蔦屋家電とは 採用情報 オンラインショップ

海のUMAMI暮らし



食 | トーク | フェア | 展示 | デモンストレーション 2階 ダイニング 2019年 10月27日(日)



フードスタイリスト 飯島 奈美さん



海のUMAMI暮らし



環境の変化などで海の魚たちが減ってきている今、フードロスの観点からも見直されているのが、日本古来の保存技術と食の文化。

海を大切にする日本人の“サステナビリティマインド”がいつもの食卓をもっと心豊かに、スタイリッシュにアップデートします。

地球にやさしい自分流のお手軽レシピを、お試しください。

【登壇者プロフィール】

フードスタイリスト:飯島奈美さん

東京生まれ。フードスタイリスト。TVCM、広告を中心に、映画などでも活動中。主な仕事に、映画「かもめ食堂」、「南極料理人」、「舟を編む」、「海街ダイアリー」、「真実」やNHK連続テレビ小説「ごちそうさん」、ドラマ「深夜食堂」「カルテット」など。主な著書に「LIFE なんでもない日、おめでとう!のごはん。」(東京系井事務所)「ワインがおいしいフレンチごはん」(リトルモア)、「ご飯の島の美味しい話」(幻冬社)オリジナル商品「紀州の、うめ酢」うめ酢を使った料理冊子「誰のがれレシピ」

パタゴニア プロビジョンズ マネージャー:近藤 勝宏

1973年生まれ。神奈川県出身。1995年、パタゴニア鎌倉ストアにパートタイムスタッフとして勤務。

正社員として入社後、ストア、マーケティング部門のマネージャーを経て、2016年よりパタゴニアの

新しい食品事業の日本担当マネージャーとなる。日頃からサーフィンやスノーボードなど愛好し、

自然と親しむライフスタイルを送っている。

ラジオD J、環境学者:井出 和義

WMO(世界気象機関)認定気候キャスター埼玉大学大学院非常勤講師など幅広く活躍。

環境/社会貢献をテーマとしたラジオ番組を今年で約15年続けている。

鎌倉在住、海の街で育児中。

※イベント当日、トークイベントの様様を写真や動画で撮影する予定がございます。

参加者の皆様ที่映り込んだ映像や画像がリリースされる場合がございますので、あらかじめご了承くださいませ。

日程	2019年10月27日(日)	時間	13:30~14:30 (開場13:10)
場所	2階 ダイニング	定員	32名
参加費	無料 中学生以上。小学生以下の参加は必ず保護者様ご同件ください。	申込方法	10月27日9:30から、イベントスペース(ダイニング)にて、先着順に参加券を配布します。
主催	海と日本ラウンジ実行委員会	問い合わせ先	海と日本ラウンジ実行委員会 事務局 (株式会社オレンジア) 前川 maekawa@orangh.co.jp
			試食品提供があるイベントの為、参加の際、住所・氏名・連絡先をお伺いし、記入していただきます。



メールマガジンで、イベント・フェア情報をいち早くお届けしています。ぜひご購読ください。

メルマガ登録はこちら

□コンセプトパネル

海に寄り添う日本人のサステナブルマインドをいつものテーブルへ、お手軽アップデート。

海へのUMAMI暮らし

UMAMI HISTORY
海と日本人の歴史

UMAMI LIFE STYLE
海と日本人の暮らし

UMAMI BENEFIT
海と日本人の健康

UMAMI TECHNOLOGY
海と日本人の未来

海へのUMAMI暮らし
ブリ干物とアブリのそばろ55し

□海と日本プロジェクトパネル B2

海と人と人をつなぐ。

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、
子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、
海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、
日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、
オールジャパンで推進するプロジェクトです。

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

□参考文献紹介パネル A4

10月27日(日) トークイベント
『海へのUMAMI暮らし』 展示に関連するおすすめ図書

もっと深く知りたい方へのおすすめ図書をご用意しました。
『海とUMAMI暮らし』マークが貼られた本は、二子玉川高級家電店内で自由にご覧いただけます。
読み終わりましたら元の場所へお戻しください。

〈日本の食文化〉

- ・江戸の食文化：和食の発展とその背景（小学館/原田信男）
- ・富集江戸の食文化を通して（弘学出版/石川寛子：編著）
- ・日本食物語（吉川弘文館/石川寛子、石川寛子、東川裕子）
- ・〈全日本日本の食文化〉第4巻 魚・野菜・肉（山崎出版/石川寛子、芳賀登、石川寛子：監修）
- ・〈ものごとの文化史 139〉 魚（法政大学出版局/川名啓）
- ・〈ものごとの文化史 171〉 魚（法政大学出版局/赤須正香）
- ・発酵文化人 魚 微生物から見た社会のカタチ（木楽舎/小倉ヒラコ）

〈江戸の街道〉

- ・宿場と街道一五街道入門（東京美術/児玉幸多）
- ・『読者浮世絵』 歌川広重 永楽堂 東海道五拾三次（二玄社/町田市立国際版画美術館：監修、佐々木守俊）

〈日本の民俗文化〉

- ・『宮本一廣演説集』 1 民衆の生活文化（農山漁村文化協会）
- ・明治大正史 世相篇 新装版（講談社学術文庫/藤田義男）

〈江戸の歴史〉

- ・北前船寄港地ガイド（加賀舎出版/加藤貞仁）
- ・鳥取県 140B / 本巻
- ・現代派 旅行用心算（八坂書房/八坂慶子：著、櫻井正信：訳）
- ・多摩川結露 今昔 源流から河口まで（ひかり出版/今尾直介）
- ・北前船おっけい日記（加賀舎/加藤貞仁）

〈日本の暮らし〉

- ・日本の食生活全集 1 日本の食生活1（農山漁村文化協会）
- ・日本の食生活全集 2 日本の食生活2（農山漁村文化協会）

〈いろいろな魚〉

- ・海の魚大図鑑（日東書院本社/石川浩章、編者 川崎博之）
- ・からだにいい魚の百科辞典（高橋書店/藤原昌高）
- ・『小学館の図鑑 NEO』 DVD付 新版 魚（小学館/井田隆：監修、松崎啓一：監修）

※『海とUMAMI暮らし』展示は10月27日(日)開催のトークイベントに関連した展示です。
※一部は展示パネル作成の参考とした図書です。

海と人と人をつなぐ。
さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。
そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、
子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、
海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、
日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、
オールジャパンで推進するプロジェクトです。

海に浮かぶ日本人のサステナブルマインドをいつものテーブルへ、お手軽アップデート。

海へのUMAMI暮らし

海と日本プロジェクト委員会
本社所在地：東京都千代田区九段南4-7-16 都庁KITビルB19階
担当：高橋純子 TEL: 03-5275-5105

海と日本 PROJECT

□ステージ装飾パネル B2

海に寄り添う日本人のサステナブルマインドをいつものテーブルへ、お手軽アップデート。

海へのUMAMI暮らし

□参加者募集パネル B2

海へのUMAMI暮らし

「海へのUMAMI暮らしトークイベント」

参加者受付中

ブリ干物とアブリのそばろ55し

フードスタイリスト
飯島 奈美 さん

トークイベント受付にて
先着 32名様に参加券をお渡しします。

開催日時 10月27日 13時30分～14時30分
開催場所 2階 ダイニング

開催内容 環境の変化などで海の魚たちが減ってきている今、フードスタの観点からも見直されているのが、日本古来の保存技術と食の文化。海を大切にしている日本人の「サステナブルマインド」がいつもの食卓をもっと心豊かに、スライディングにアップデートします。フードスタイリストの飯島奈美さんによるトーク、実演を見学お楽しみください。

出演者 フードスタイリスト 飯島 奈美
パティシエ プロビジョンズ マネージャー 近藤 穂花

□参加券配布所サイン
A4横 1枚 借用サインスタンド立て



□入場口サイン
A4横 1枚 借用サインスタンド立て



□注意サイン
A4横 3枚 借用サインスタンド立て
掲出は当日現場にて判断



□アンケート 3種
A4 白黒



□配布資料 (レシピ) A4 両面カラーコピー



□海と日本プロジェクトHP

海と日本プロジェクトとは **プロジェクト参加人数のべ 3,057,553**
 誰でもSNSで応援できる！

海のイベント検索 | お知らせ | 全国の海情報 | 注目の海イベント | 特集 | 著名人応援

海と日本プロジェクト > 海のイベント検索 > 「海のUMAMI暮らし」

海を学ぼう！

更新日：2019.10.23

「海のUMAMI暮らし」

海を大事にして海を味わってもらいたい、海にもちょっと優しくなる暮らしを学ぶ。

屋内 | 知識系 | 体験系 | 無料



フードスタイリスト 飯島奈美さん

海のUMAMI暮らし

「海のUMAMI暮らし」とは...海を大事にして海を味わってもらいたい、海にもちょっと優しくなる暮らしを実践して欲しい。そんな思いが込められています。今回のイベントは、二子玉川 高屋家電のイベントテーマ「がんばらない和食」に合い、気候変動などの要因により海の魚が減っており、今後も減る危険が予想されている今、今日から実践できるアクションとして、食べ物を大切に扱うという視点は大事なことです。フードロスの削減にもなり、地球にも優しくなるライフスタイルを身につける。おしゅれでちょっと誇らしい、軽く捉えられがちな和食をお手軽・簡単にできる、時間にも海にも優しい「保存食(干物)」を紹介。アレンジレシピとして、ちらし寿司もご紹介。料理の背景にある海の魅力を紹介する展示ギャラリーもお楽しみいただけます。進行している海の環境の悪化や海の問題についても積極的に環境問題に取り組んでいるパタゴニアさんと交えてトークを展開していきます。

地図

地図は正しい位置を表示していない場合があります。正確な位置情報は「問合せ」または「ウェブサイトURL」からご確認ください。



東京都世田谷区玉川1-14-1 二子玉川 高屋家電
 二子玉川 高屋家電 2Fダイニング

対象年齢

5歳以下 小学生 中学生 高校生 大人 親子

イベント詳細

営業時間や定休日、料金などの詳しい情報は、最新の情報は、最新の情報は、最新の情報ではない可能性もあります。また開催期間として複数日表示されている場合でも、期間中の全ての日程でイベントが開催されない場合がありますので、必ず事前に確認の上ご利用ください。

イベント名	「海のUMAMI暮らし」
イベント名かな	うみのうまみぐらし
主催者名	海と日本ラウンジ実行委員会
開催場所の都道府県	東京都
開催場所の屋内外	屋内
開催場所の具体的記述	二子玉川 高屋家電 2Fダイニング
開催期間	2019年10月27日(日)
開催日付の補足/日程詳細	2019年10月27日(日) 13:30~14:30 ※農示ギャラリー期間 2019年10月26日(土)~11月8日(金)
雨天の場合の開催可否	雨天決行
募集人数	当日先着順
参加費の有無	無料
事前申し込みの有無	なし
問合せ	団体名称 : 海と日本ラウンジ実行委員会 メール : maekawa@oranh.co.jp 事務局 : 前川

Twitter

Share

□二子玉川 高屋家電HP

Electric 高屋家電

アクセス | フロアガイド | イベント | 特集・記事 | ニュース | 二子玉川 高屋家電とは | 採用情報 | オンラインショップ

海のUMAMI暮らし

1 | トーク | フェア | 展示 | デモンストレーション | 2階 ダイニング 2019年 10月27日(日)



フードスタイリスト 飯島奈美さん

海のUMAMI暮らし

環境の変化などで海の魚たちが減ってきている今、フードロスの観点からも見直されているのが、日本古来の保存技術と食の文化。

海を大切にする日本人の「サステイナビリティマインド」がいつの日も食卓をもっと心豊かに、スタイリッシュにアップデートします。

地球にやさしい自分流のお手軽レシピを、お試しください。

【登壇者プロフィール】

フードスタイリスト:飯島奈美さん

東京生まれ。フードスタイリスト。TVC、広告を中心に、映画などで活動中。主な仕事に、映画「かもめ食堂」、「南極料理人」、「角を編む」、「海街ダイアリー」、「真実」やNHK連続テレビ小説「ごちそうさん」、ドラマ「深夜食堂」、「カルテット」など。主な著書に「LIFE なんでもない日、おめでとう!のごはん。」(東京系井事務所)「ワインがおいしいフレンチごはん」(リトルモア)、「ご飯の島の美味しい話」(幻冬社)オリジナル商品「九州の、うめ酢」うめ酢を使った料理冊子「鮭のがれレシピ」

パタゴニアプロビジョンズマネージャー:近藤 朋宏
 1973年生まれ。神奈川県出身。1995年、パタゴニア鎌倉ストアにパートタイムスタッフとして勤務。正社員として入社後、ストア、マーケティング部門のマネージャーを経て、2016年よりパタゴニアの新しい食品事業の日本担当マネージャーとなる。日頃からサーフィンやスノーボードなど愛好し、自然と親しむライフスタイルを送っている。

ラジオD J、環境学者:井出 和義

WMO(世界気象機関)認定気候キャスター埼玉大学大学院非常勤講師など幅広く活躍。

環境/社会貢献をテーマとしたラジオ番組を今年で約15年続けている。

鎌倉在住、海の街で育児中。

※イベント当日、トークイベントの様子は写真や動画で撮影する予定がございます。

参加者の皆様が発り込んだ映像や画像がリリースされる場合がございますので、あらかじめご了承くださいませ。

日程	2019年10月27日(日)	時間	13:30~14:30(開場13:10)
場所	2階 ダイニング	定員	32名
参加費	無料 中学生以上、小学生以下の参加は必ず保護者様のご同件ください。	申込方法	10月27日9:30から、イベントスペース(ダイニング)にて、先着順に参加券を配布します。
主催	海と日本ラウンジ実行委員会	問い合わせ先	海と日本ラウンジ実行委員会 事務局 (株式会社オレンジア) 前川 maekawa@oranh.co.jp

メルマガジで、イベント・フェア情報をいち早くお届けしています。ぜひご覧ください。

メルマガ登録はこちら

EVENT REPORT

□二子玉川 高屋家電 館内サイネージ

EVENT INFORMATION

「海」の面白さ、おいしさ、大事さとは?

海のUMAMI暮らし

10月27日(日) 13:30~14:30

環境の変化などで海の魚たちが減ってきている今、フードロスの観点からも見直されているのが、日本古来の保存技術と食の文化。海を大切にする日本人の「サステイナビリティマインド」がいつの日も食卓をもっと心豊かに、スタイリッシュにアップデートします。フードスタイリストの飯島奈美さんによるトーク、実演を是非お楽しみください。

場所: 2階 ダイニング
 申込方法: 詳しくはHPをご覧ください

Electric 高屋家電

二子玉川蔦屋家電meetup企画「海のUMAMI暮らし」配信先リスト一覧

※重複しております媒体は弊社からコンタクト可能なルートを残しております。

	メディアカテゴリー	媒体名	会社名	部署名
1	通信社	共同通信	一般社団法人 共同通信社	文化部 学芸
2	通信社	共同通信	一般社団法人 共同通信社	社会部
3	通信社	時事通信	株式会社 時事通信社	文化特進部
4	全国紙	朝日新聞	朝日新聞社 東京本社	文化くらし報道部 生活グループ
5	全国紙	毎日新聞	毎日新聞社	学芸部
6	全国紙	読売新聞	読売新聞 東京本社	社会部
7	全国紙	日本経済新聞	日本経済新聞社	
8	全国紙	産経新聞	産経新聞社	社会部
9	ブロック紙	東京新聞	東京新聞社	読者部
10	主婦誌	オレンジページ	株式会社 オレンジページ	編集部
11	主婦誌	クロワッサン	株式会社 マガジンハウス	編集部
12	主婦誌	サンキュ!	株式会社 ベネッセコーポレーション	編集部
13	主婦誌	CHANTO	株式会社 主婦と生活社	編集部
14	主婦誌	レタスクラブ	株式会社KADOKAWA	編集部
15	主婦誌	暮らしの手帖	株式会社 暮らしの手帖社	編集部
16	カルチャー・ライフスタイル誌	天然生活	株式会社 扶桑社	編集部
17	環境・ECO誌	環境ビジネス	株式会社 日本ビジネス出版	編集部
18	環境・ECO誌	日経ESG	株式会社 日経BP社	編集部
19	環境・ECO誌	オルタナ	株式会社 オルタナ	編集部
20	弱電・家電器機	家電Biz	株式会社クロス	
21	弱電・家電器機	住まいとでんき		
22	育児・キッズ誌	AERA Kids	朝日新聞出版	AERA with Kids編集部
23	業界紙誌-教育	朝日小学生新聞	株式会社 朝日学生新聞社	編集部
24	業界紙誌-教育	朝日中高生新聞	株式会社 朝日学生新聞社	編集部
25	業界紙誌-教育	毎日小学生新聞	株式会社 毎日新聞社	編集部
26	業界紙誌-教育	読売KODOMO新聞	読売新聞 東京本社	編集室
27	業界紙誌-教育	読売中高生新聞	読売新聞 東京本社	編集部
28	業界紙誌-教育	全私学新聞	全私学新聞運営委員会	編集部
29	業界紙誌-教育	教育家庭新聞	株式会社 教育家庭新聞社	
30	業界紙誌-教育	日本教育新聞	株式会社 日本教育新聞社	編集部
31	業界紙誌-教育	日本教育新聞	株式会社 日本教育新聞社	編集部
32	業界紙誌-教育	教育新聞	株式会社 教育新聞社	編集部
33	業界紙誌-教育	教育ジャーナル	学研プラス	編集部
34	業界紙誌-教育・指導研究	小一教育技術	株式会社 小学館	編集部
35	業界紙誌-教育・指導研究	小二教育技術	株式会社 小学館	編集部
36	業界紙誌-教育・指導研究	小三教育技術	株式会社 小学館	編集部
37	業界紙誌-教育・指導研究	小四教育技術	株式会社 小学館	編集部
38	業界紙誌-教育・指導研究	小五教育技術	株式会社 小学館	編集部
39	業界紙誌-教育・指導研究	小六教育技術	株式会社 小学館	編集部
40	業界紙誌-水産	水産新潮	水産新潮社	
41	業界紙誌-水産	日刊水産経済新聞	株式会社 水産経済新聞社	
42	業界紙誌-水産	水産タイムス	株式会社 水産タイムズ社	
43	業界紙誌-水産	みなと新聞	株式会社 みなと山口合同新聞社	
44	業界紙誌-水産	水産週報	株式会社 水産社	
45	業界紙誌-水産	週刊水産新聞	株式会社 水産新聞社 東京支社	
46	業界紙誌-食品総合	食品産業新聞	株式会社 食品産業新聞社	
47	業界紙誌-食品総合	食品新聞	株式会社 食品新聞社	
48	業界紙誌-食品総合	食料醸界新聞	株式会社 食料醸界新聞社	
49	業界紙誌-食品総合	食品経済新聞	株式会社 食経	
50	業界紙誌-食品総合	帝飲食糧新聞	株式会社 帝国飲食料新聞社	
51	業界紙誌-食品総合	日本食糧新聞	株式会社 日本食糧新聞社	編集営業本部
52	業界紙誌-食品総合	味の21世紀	味の21世紀社	
53	専門誌紙-料理飲料業	すしの雑誌	株式会社 旭屋出版	
54	専門誌紙-料理飲料業	Food Biz	株式会社 エフビー	
55	専門誌紙-料理飲料業	FOOD LIFE	株式会社 総合食品研究所	
56	web-育児・キッズ	いこーよ	アクトインディ株式会社	子育て支援事業部 マーケティングデザインチーム
57	web-食品総合	日本食糧新聞	株式会社 日本食糧新聞社	web事業本部
58	web-食品総合	フードウィークリー	株式会社 週刊食品	東京編集部

11月7日付 東京新聞

～海の魅力を知り、味わい、海に優しい暮らしを提案するイベント～
【海のUMAMI暮らし】開催!!

海を大事にして海を味わってもらいたい。海にもちょっと優しくなる暮らしを实践して欲しい。そんな思いが込められたイベント「海のUMAMI暮らし」が10月27日(日)、二子玉川葛屋家電(東京都世田谷区玉川1-14-1)にて開催されました。

会場にはパタゴニアプロビジョンズの近藤勝宏さん、フードスタイリストの飯島奈美さんをお招きし、環境科学者の井手迫義和さんをファシリテーターに「海のUMAMI暮らし」トークを展開。海の魅力を知り、その恵みを大事にいただく暮らしの实践を来場者に呼び掛けました。続いて、干物を使った「ぶりのそ

ほろちらし」の料理実演と試食を実施。ソーダストリームの炭酸水で炊いたごはんも紹介されました。



このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる「日本財団「海と日本プロジェクト」」の一環として実施されたもので、当日の参加申し込みにも関わらず座席は満席で立ち見も出るほどの盛況となりました。

for KIDS

参加したイベントの名称を教えてください。

Q1 あなたについて、当てはまるものを選んでください。

Q2 いま、何歳ですか。

Q3 住んでいる所(都道府県、市の市まで)を教えてください。

Q4 どうして、このイベントに参加したか、(いくつか選べ)

Q5 参加したイベントについて、あなたに当てはまるものを選んでください。理由も教えてください。

Q6 特に、今日の体験(やったこと)をしてみて、気がついたことや、思ったこと、おどろいたこと、知ってよかったことなどあれば、自由に教えてください。

子ども用アンケート... 1枚

「海と日本 PROJECT」アンケートご協力のおねがい

参加したイベント名

Q1 あなたご自身にあてはまるものをお選びください。

Q2 あなたご自身にあてはまるものをお選びください。

Q3 今回のイベントに参加した方は誰ですか。(ひとつだけ)

Q4 ご家族のお子さまが参加されている場合のみ、お答えください。参加されたお子さまにあてはまるものすべてをお選びください。

Q5 お住いの都道府県を教えてください。

Q6 このイベントを何で知りましたか。(ひとつだけ)

Q7 なぜ、このイベントに参加しましたか。(複数回答可)

Q8 このイベントは、いかがでしたか。また、その理由を教えてください。(ひとつだけ)

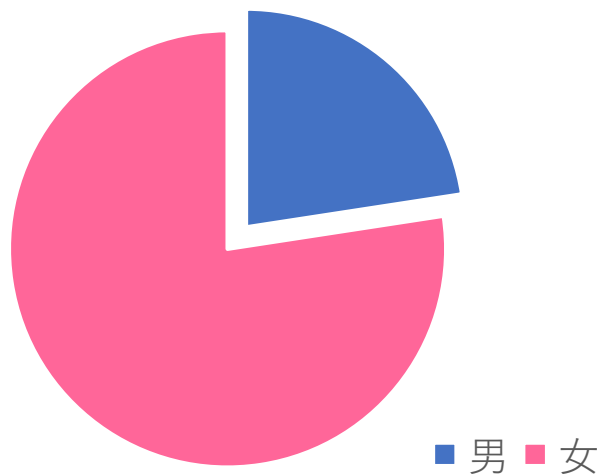
Q9 今回の体験を通じて、他に思ったことがあれば、何でも自由にお書きください。

大人用アンケート...30枚

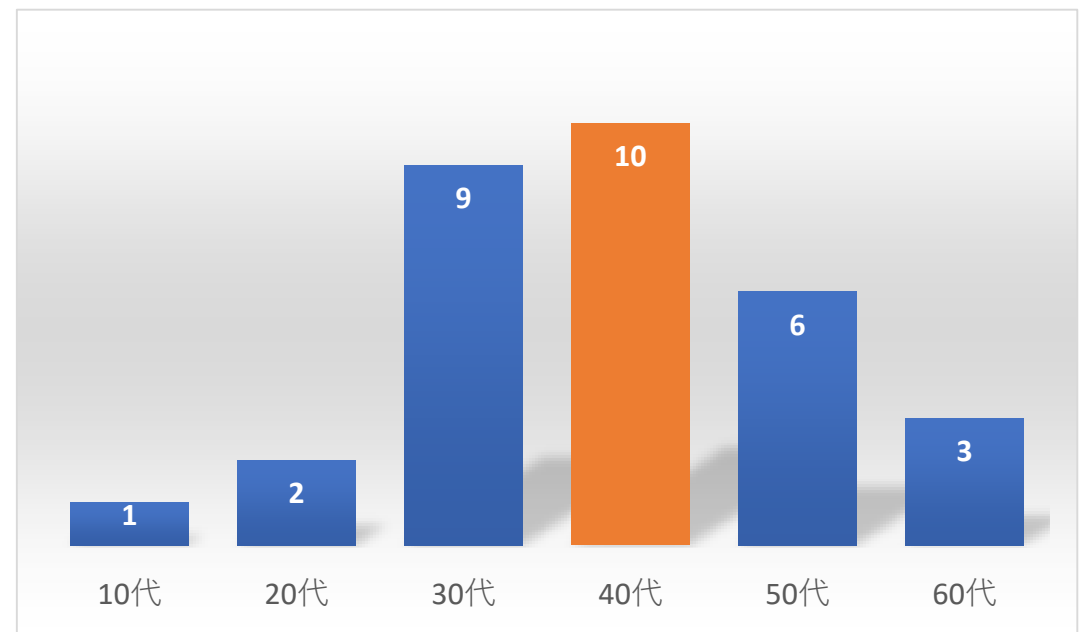
計 **31**枚

Q1. 性別

男... 7 女...24

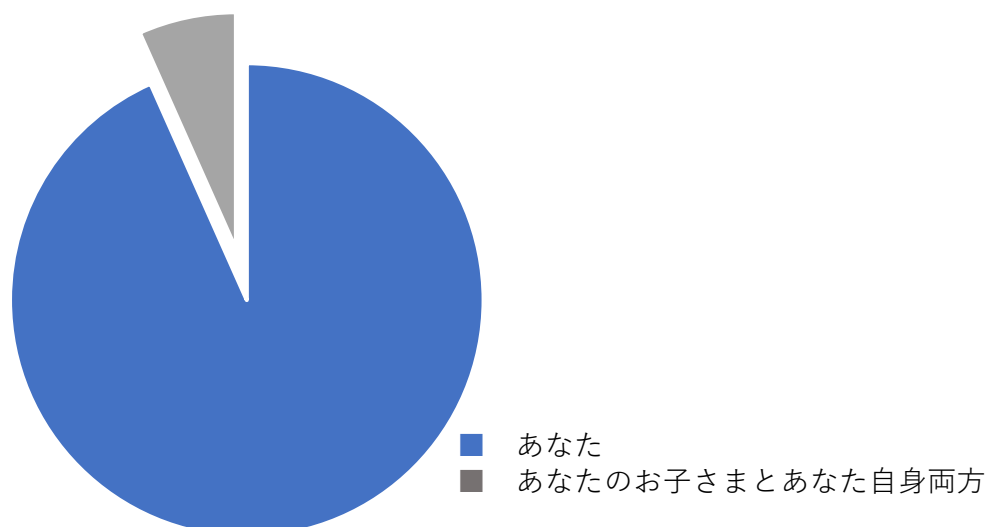


Q2. 年齢



Q3. 今回実際のイベントに参加した方は誰ですか？

- あなた(ご自身) ...28
- あなたのお子さま...0
- あなたのお子さまとあなた自身両方...2

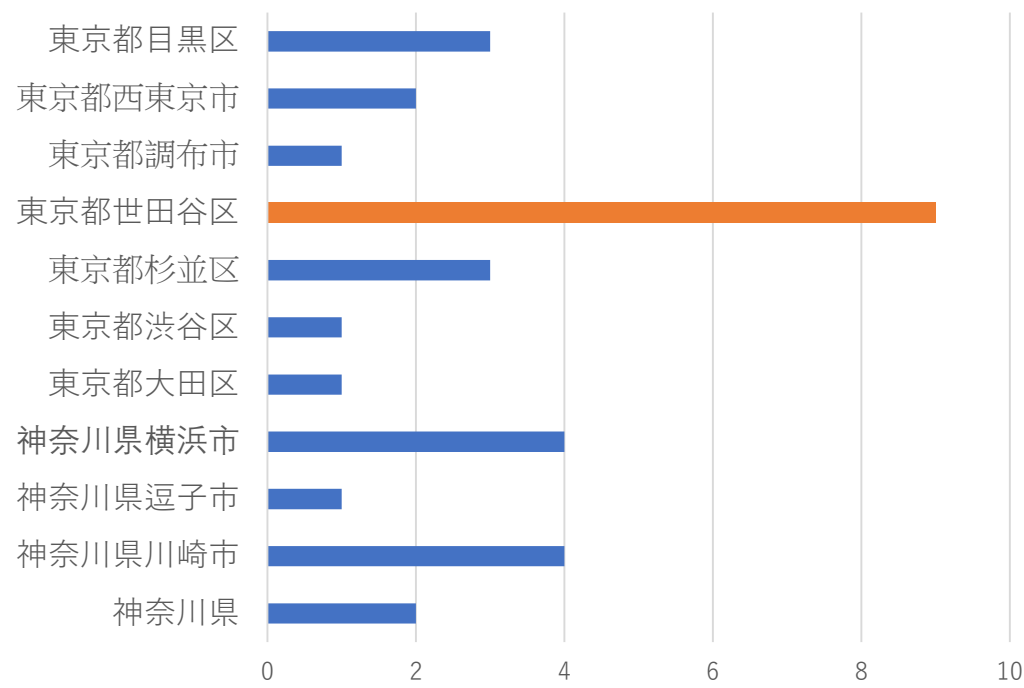


Q4. ご家族のお子さまが参加されている場合のみ参加されたお子さまにあてはまるもの全てをお選びください

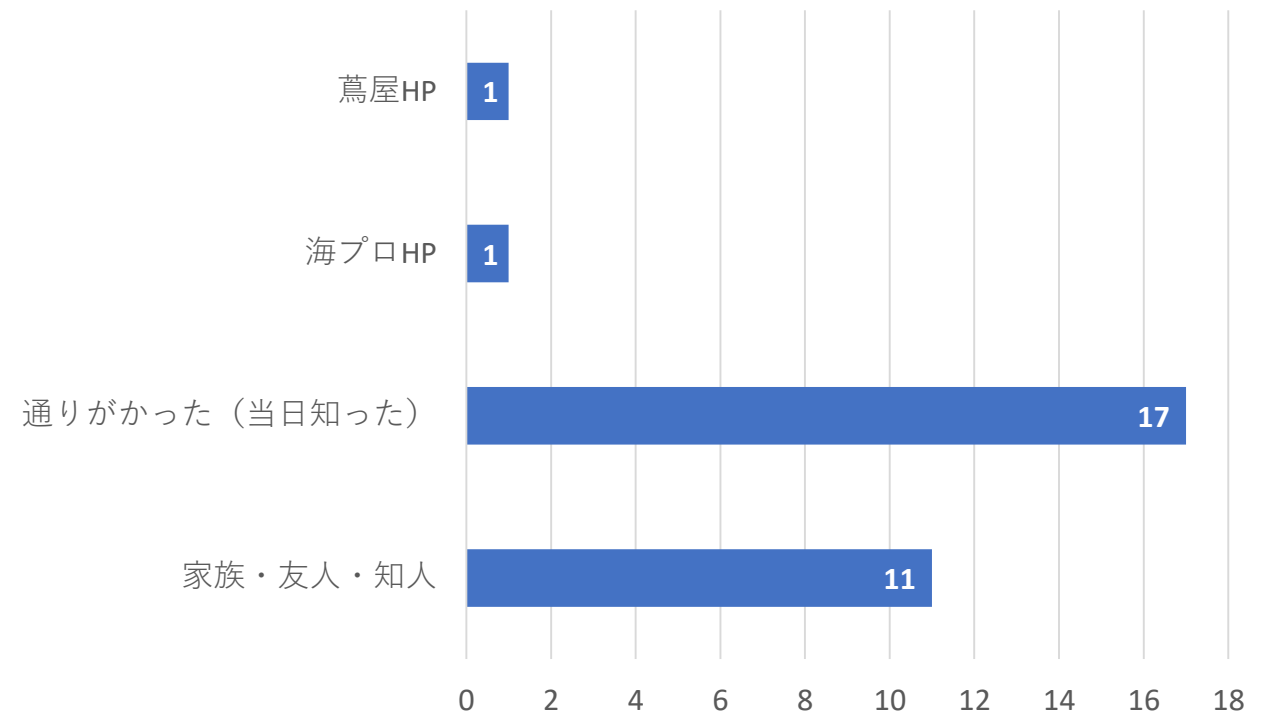
・ 小学校 5 ～ 6 年生

・ 0 ～ 2 歳

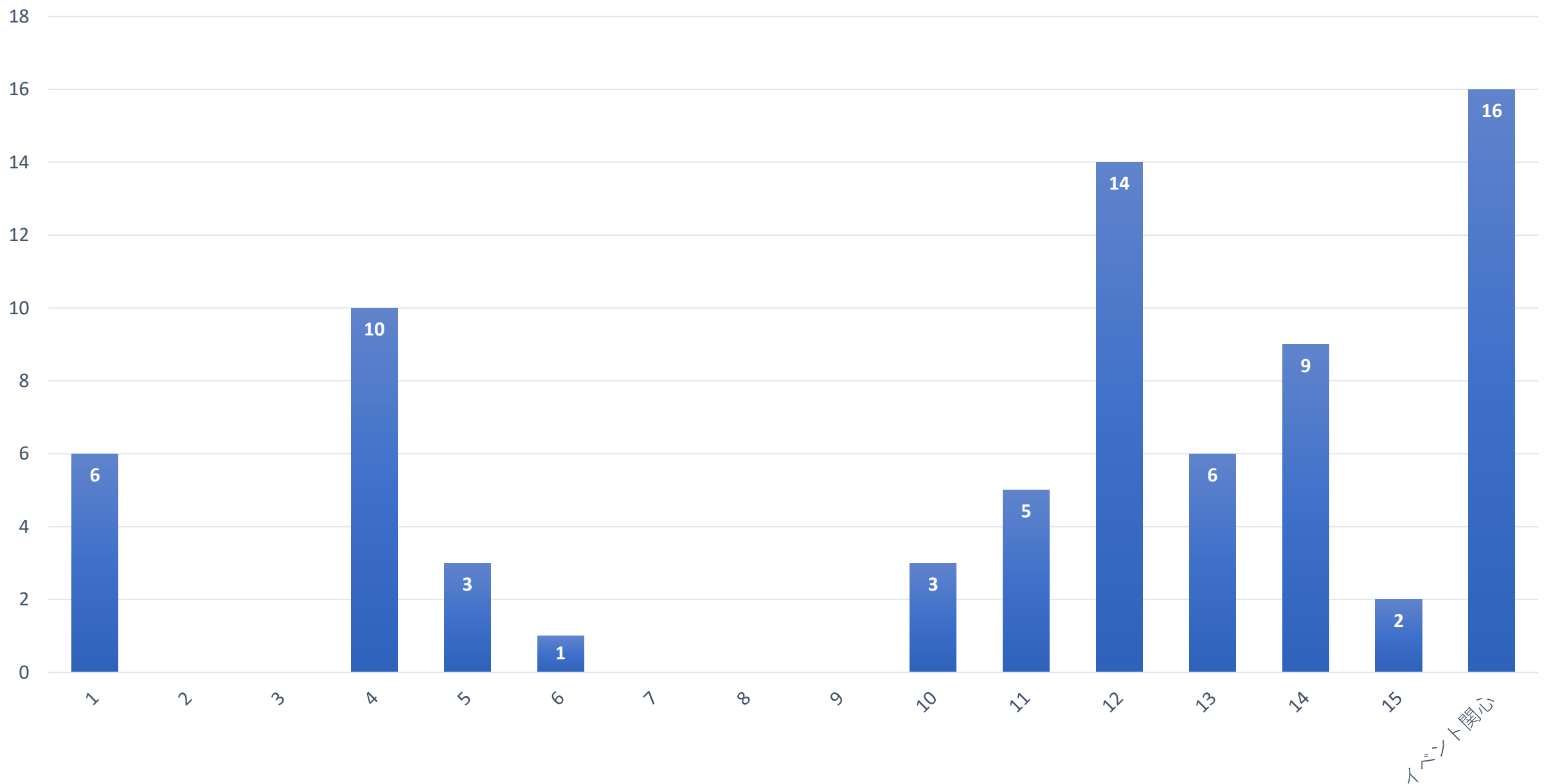
Q5. お住まいの都道府県を教えてください。



Q6. このイベントを何で知りましたか？



Q7. なぜこのイベントに参加しましたか



- | | | |
|-----------------------|-------------------|------------------------|
| 1.海が好き | 2.子供に（海を）体験させたかった | 3.夏だから |
| 4.海に興味があり、イベント内容も面白そう | | 5.海に興味はないが、イベント内容が面白そう |
| 6.友達が参加した | 7.子どもだけで参加できる | 8.親子で参加できる |
| 9.自由研究の題材になる | 10.家が近い | 11.費用がかからない・安価 |
| 12.ゲスト・登壇者が良い | 13.日程が空いていた | 14.知的好奇心が満たされそう |
| 15.その他 | | |

5に○をつけた人のみお聞きします。イベントに参加してみて、海への関心はいかがでしたか。

1. 高まった 2.高まらなかった

Q8. このイベントは、いかがでしたか。また、その理由を教えてください

- 1 **満足した**…29
- 2 満足しなかった…0
- 3 どちらともいえない…2



■ 満足した ■ どちらともいえない

- ・料理がおいしかったから
- ・知らなかったことを知ることができた気づきがあった。
- ・できれば調理の手元の様子などせかくなのでモニターに投影して欲しかった。
- ・海産物の問題など現状を知った
- ・とてもおいしかったし、勉強になりました。
- ・簡単でおいしくて地球に優しいので家でも作ってみたいです
- ・食と環境の関係が重要とわかったから
- ・魚を美味しく食べる機会・方法を知ることができた。無駄を出さない知恵を知ることができた
- ・なるほどと思う気づきがあった。そして簡単で美味しい！実践してみます。
- ・保存食について勉強になりました。
- ・簡単干物のおいしさに感動した。サステナビリティについて考えて商品購入しようと思った。
- ・試食がとても美味しかったです。
- ・保存食の作り方と環境の両方からの提案を暮らしに役に立てたいと思った
- ・とてもおいしかったし、勉強になりました。良い内容でした、試食も美味しかったです。
- ・試食があったので
- ・飯島さんのお料理を頂き、環境問題のわかりやすいお話しが聞け、良い時間でしたありがとうございました。
- ・美味しいものたべれて新しい知識を得られた。
- ・ムール貝に海を綺麗にする効果があるのを初めて知りました！
- ・試食は美味しかったが、司会者の進行がわかり辛く伝えたい事がわかりにくかった。
- ・話しも聞けて試食もできたので
- ・ゲストの話、干物の作り方など楽しかった
- ・食のレシピが身近だった
- ・パタゴニア、取り組みについて知りました。社風がいいです。
- ・環境も学べてお料理も美味しかったです。
- ・ブリの干物が美味しかった、家で作りたくなった。少ない調味料だけで素材の味をいかす料理を学びました。

Q9. 今回の体験を通じて、他に思ったことがあれば、何でも自由にお書きください。

- ・地球環境・海の資源を私たちが守っていくことが大切だと感じた。
自分で出来る事から始めて行こうと思った。ブリの干物はとても美味しく家でも作ろうと思う。
- ・サステナブルという言葉は知っていても、自分にできることはあるのか？と聞いていたが、「食」からだとならぬことだし、簡単に取り入れられそうだと思います。
- ・毎年梅干しや梅酒を作っています。これからも続けていこうと思います
お魚は大好きだし、持続可能な未来のためにも毎日の料理にたくさん使えたらいいなと思います。
- ・うまみを生かした料理を作ってみたいと思いました。
- ・食べ過ぎない、残さない、美味しく食べることが大切。自然の恵みに感謝です。
- ・ひとりじゃない、ひとりひとりがみんなであれば大きな力になる身近なことなので自分でもできるなと思いました。
- ・海の旨みに関してもっと知りたい
- ・家で干物を作りたい。海の環境についてもっと知りたくなった。
- ・美味しい寿司は食べ続けたいです。
- ・飯島さんのごはんとっても美味しかったです。家で子供に作りたいと思っています。
- ・地球温暖化による食生活の変化
- ・調理をする際に席を立てて前に見に行ってもいいですよとアナウンスがあればよかったと思います。
最後にディスプレイはみれましたが手元も見てみたかったです。
- ・保存食の作り方、買う前にどこから来たかを知るなど、気を付けたいと思う。
- ・くんせいを作りたいと思いました。
- ・カリキュラムが先に知りたかった。
- ・干物は初めてだったので早速作りたいと思いました。
- ・地球温暖化は深刻なので自分にできることから始めようと思いました。
- ・最近の私のテーマがまさにフードロスです。全て食べきる、使い切る、大事な事だと思います。
- ・家庭でも簡単にできる干物は試してみたい
- ・これからの未来と子供のためにできる事からやっていこうと思いました。
- ・日々の暮らしの中で工夫できることをこの機会に探してみたい
- ・レシピが参考になった。やってみようと思った。
- ・ブリの水分が身がしまり美味しかったです。
- ・おしぼりの気遣いも素晴らしいと思いました。少しずつでも自分のできることをやっていこうと思いました。
魚の干物はすぐに試してみたいです。

- ・料理を中心としたイベント内容だったためか、8割が女性を占める結果となった。
- ・20代～40代をターゲットとした今回のイベントは40代の割合が多かった。
当日の参加申し込みだった為、ファミリーや若い層だと予定を組んでいる方が多く、40代層で時間にゆとりのある方に多くご参加いただけたのではないかと
- ・当日申し込みにも関わらず、世田谷区以外でのご参加は過半数を超え、イベント内容が充実できていたのではないかと。
- ・イベント参加理由には、全体合計数のうち、約半数が「イベント内容も面白そう」「イベント内容が面白そう」「知的好奇心が満たされそう」と回答。
イベント内容が充実していたと考えられる。
- ・イベントの満足度は9割が満足の回答を得られた。
残り1割については、料理の際の手元をモニターで映して欲しかった、など、改善に繋がるコメントをいただいた。
- ・自由コメントについては
「身近で簡単にできる」「自分にもできそう」「実践してみたい」「勉強になった」など、簡単にできるなら自分もやってみようという海への環境への取組に向けた第一歩として意識の変化がみられた。

イベント全体では、多少改善余地があるものの、充実した内容で海への理解、解決に向けたイベント内容になったのではないかと。

「海に興味はないが、イベントが面白そう」というアンケート記入者全員がイベント後の海への関心について「高まった」と回答が得られ、大きな課題解決策ではないが誰でも気軽に簡単に始められる第一歩とした海への環境問題イベントとして評価できると考える。他人事となりがちな海への環境問題への取組が“食”という誰もが関わるコンテンツで紹介することにより、「自分事」としてとらえていただけたと思う。

今回のイベントが蔦屋書店の全国展開で自走化できれば、小さな一歩が集まって大きな課題解決へと繋がったと思われる。